

# 監査報告書

平成30年5月28日

社会福祉法人 大町市社会福祉協議会

会長 奥村 剛 殿

監事 前田 敏博



監事 西山 秀一



私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

## 別記

### 大町市社会福祉協議会 平成 29 年度決算監査内容詳細

- 監査実施日時 平成 30 年 5 月 28 日（月）午前 10 時 30 分～12 時 00 分
- 監査実施場所 大町市総合福祉センター 1 階 相談室
- 監査対象期間 平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで
- 質疑・応答

問. 事業報告書にて、子ども支援関係が新たに追加されているが、市内の子ども食堂等の状況がいかがか。

答. 子ども支援については、平成 29 年度より、県主体で組織された「北アルプス子ども応援プラットフォーム」に参画し、運営委員として他の構成団体と大北地域の子ども支援のあり方について検討が始まり平成 30 年度により具体的に始まるどころ。また、大町市において、市内 NPO に協力を要請し、子ども食堂をモデル的にスタートさせた。しかし、立地的な課題等により、参加者が集まらず、あらためて市内の子ども支援ニーズを確認する必要があるとなっている。

問. 災害に対し、様々な事業を展開しているようだが、市総合防災訓練への社協として参加はないのか。

答. 過去、数回参加したことはあるが、現在は、市総合防災訓練に合わせて、職員初動マニュアルに基づいた招集訓練を行い、その際災害対応研修を併せ実施している。昨年は避難所運営訓練「HUG」を長野県危機管理防災課出前講座へ依頼し実施した。

問. 正規職員の定年退職が続いているようだが、補充はされないのか。

答. 平成 30 年度に正規職員採用を予定している。

#### ■ 監査意見

- 介護保険事業と障害福祉事業の収入計上を 3 月から 2 月までとしている件については、平成 30 年度補正予算対応にて 13 ヶ月予算として対応するとのことだが、1 ヶ月分の収入科目については別にし、分かりやすさに努めていただきたい。
- 徴収不能引当金に計上されている債権について、半年ごとに督促状を送付し、宛先不明で戻ってしまう場合には、欠損処分を検討されたい。
- 高齢者福祉活動及び障がい者福祉活動においては、報酬単価引き下げ等の状況の中、よく努力されている。
- 地域福祉活動を中心に多くの新規事業へ取り組まれていることについては、評価する。引き続き努力されたい。
- 法人運営部門と地域福祉部門については、民間の助成制度を活用するなど、財源確保に努力されたい。
- 正規職員の採用を予定しているとのことだが、計画的な採用を検討されたい。